

授業がわかる調査の経年比較について (令和3年度と令和5年度)

1. はじめに

本市では、令和3年度から令和7年度の5年間を期間とし、第4次戸田市教育振興計画に取り組んでおり、その中で、方針1「子供たちが可能性に挑戦し続ける力を育むための学びの実現」に向けて、「授業がわかる調査」をモニタリング指標として設定している。ここでは、令和3年度と令和5年度の授業がわかる調査の結果を比較することで第4次教育振興計画の取組状況を振り返り、今後に生かすまとめとしたい。

2. 調査結果について

授業が「わかる」

- 小学校：教科別に見ると、学年によって違いは見られるが、国語と算数がほぼ横ばい、社会が少し下がり、理科が少し伸びている。
- 中学校：いずれの教科もおよそ2～3ポイント下がっているが、**学年別の違いが大きく**、特に1年生の社会、3年生の数学、2～3年生の理科、2年生の英語などは5ポイント以上下がっている。

表1「わかる」の学級平均

	国 語		社 会		算数／数学		理 科		英 語	
	令和5年度	令和3年度差	令和5年度	令和3年度差	令和5年度	令和3年度差	令和5年度	令和3年度差	令和5年度	令和3年度差
小 4	87.4%	▲2.6%	83.4%	▲0.6%	77.4%	▲3.9%	91.9%	+0.8%		
小 5	87.2%	▲0.7%	85.0%	+0.7%	77.4%	+0.2%	87.1%	+1.4%	74.5%	
小 6	91.2%	+2.2%	82.6%	▲3.5%	80.7%	+2.6%	87.1%	+2.9%	75.8%	
小平均	88.6%	▲0.4%	83.6%	▲1.2%	78.5%	▲0.4%	88.7%	+1.7%	75.1%	
中 1	85.8%	▲0.3%	75.6%	▲5.9%	69.6%	▲2.3%	77.1%	+3.3%	68.8%	▲0.2%
中 2	78.7%	▲4.3%	80.5%	+0.6%	76.8%	+2.0%	64.7%	▲6.8%	60.8%	▲9.1%
中 3	83.4%	▲4.0%	85.2%	▲1.4%	72.6%	▲8.8%	68.3%	▲6.3%	70.6%	▲2.1%
中平均	82.6%	▲2.9%	80.5%	▲2.2%	73.0%	▲3.0%	70.0%	▲3.3%	66.8%	▲3.8%

授業が「楽しい」

- 小学校：すべての教科で少し伸びている。4年生が全体として少し下がっているが、5～6年生が伸びている。特に**6年生は国語、算数、理科で5ポイント以上伸びている**。
- 中学校：教科別に見ると、国語と数学が少し下がり、社会と理科が少し伸びている。また英語が下がっている。**学年別に見ると、ばらつきはあるが特に2年生の英語の下がり幅が11ポイントと大きい**。

表2「楽しい」の学級平均

	国 語		社 会		算数／数学		理 科		英 語	
	令和5年度	令和3年度差	令和5年度	令和3年度差	令和5年度	令和3年度差	令和5年度	令和3年度差	令和5年度	令和3年度差
小 4	74.2%	▲3.0%	74.2%	▲1.2%	69.3%	▲3.2%	87.0%	▲0.0%	77.7%	
小 5	71.7%	+2.1%	73.5%	+3.6%	71.4%	+4.6%	76.4%	▲1.0%	69.0%	
小 6	73.3%	+5.7%	74.9%	▲1.2%	67.4%	+5.9%	79.3%	+6.0%	65.7%	
小平均	73.1%	+1.6%	74.2%	+0.4%	69.4%	+2.4%	80.9%	+1.7%	70.8%	
中 1	77.1%	+3.2%	76.0%	▲6.1%	70.1%	+4.5%	78.9%	+4.9%	65.3%	▲6.1%
中 2	64.4%	▲4.8%	75.4%	+2.9%	68.5%	▲2.6%	70.6%	▲0.7%	56.5%	▲11.0%
中 3	71.7%	▲3.5%	81.3%	+4.4%	66.4%	▲4.7%	70.5%	+1.9%	64.9%	+0.5%
中平均	71.1%	▲1.7%	77.6%	+0.4%	68.3%	▲0.9%	73.3%	+2.0%	62.2%	▲5.5%

「社会に開かれた学び」

- 小学校：探究心と協働意識が伸び、社会貢献意欲が下がっている。学年別に傾向が異なり、特に**6年生の探究心と協働意識は5ポイント以上伸びている**。
- 中学校：探究心と社会貢献意欲は下がったが、**協働意識が伸びている**。学年別に見ると1～2年生の社会貢献意欲の下がり幅が比較的大きい。

表3「社会に開かれた学び」の学級平均

	探究心		社会貢献意欲		協働意識	
	令和5年度	令和3年度差	令和5年度	令和3年度差	令和5年度	令和3年度差
小 4	70.9%	+0.3%	59.9%	▲1.5%	75.8%	+1.2%
小 5	69.4%	+0.0%	53.9%	▲5.3%	74.9%	▲0.7%
小 6	73.7%	+5.2%	53.5%	+2.1%	76.7%	+5.5%
小平均	71.4%	+1.8%	55.8%	▲1.6%	75.8%	+2.0%
中 1	66.0%	▲1.6%	42.1%	▲6.0%	76.3%	+2.7%
中 2	68.3%	▲2.7%	38.6%	▲5.6%	76.3%	+2.3%
中 3	74.5%	▲1.0%	47.2%	+0.3%	79.7%	+1.0%
中平均	69.6%	▲1.8%	42.6%	▲3.8%	77.4%	+2.0%

3. まとめ

小学校においては「わかる」の水準を維持して「楽しい」と「社会に開かれた学び」の項目を伸ばすことができている。ICTの活用や、PBL（課題解決型学習）の取組が奏効していると思われる。中学校においては全体として下がる傾向であったが、学年や教科・項目によって伸びが見られている。特に協働意識についてはどの学年でも伸びており、協働的な学びが少しずつ根付いていることが伺える。小中どちらにおいても、社会貢献意欲の伸びに課題が見られるため、社会に開かれた学校づくりを進めながら、子供たちの主体的な取組を増やしていけるよう引き続きサポートを行う必要がある。

※1 授業がわかる調査は、平成16年度から戸田市が独自に行っている、授業に関する児童生徒向けのアンケート調査である。調査項目は、「授業の内容がわかりますか（小学校は国・社・算・理の4教科（令和4年度以降から英語を含めた5教科）、中学校は国・社・数・理・英の5教科）」と「授業が楽しいですか（全教科）」、そして令和3年度から「探究心」「社会貢献意欲」「他者との協働意識」（これからの時代を生き抜くための力、社会に開かれた学びの指標）を追加した。調査対象は小学校第4学年から中学校第3学年で、令和元年以降、第1回の調査を6月、第2回の調査を12月に実施している。

※2 分析には各学級における肯定的な回答の割合を用いた、すなわち「わかる」であれば【よくわかる】と【だいたいわかる】の和の割合